

かかりつけ医と病院を結び

東北中央病院 病診連携室だより

平成22年 9月 No. 33

ホームページ <http://www.tohoku-ctr-hsp.com/>

◇ 理念 ◇ 「心温かい 信頼の医療」 病院長 田中靖久



第3回 消化器疾患治療シンポジウム



9月2日(木) ホテルキャッスル山形に於いて、恒例となりました、消化器疾患治療の最先端を討論する会である『第3回消化器疾患治療シンポジウム』を開催しました。御参集を賜りました先生方には、大変お忙しい中にもかかわらず、多数の御参加を頂き、厚く御礼申し上げます。またシンポジウム開催にあたりましては、山形大学理事で副学長の山形大学医学部消化器内科教授の河田純男先生には、多大なる御尽力を頂き深く感謝申し上げます。



【演題Ⅰ】『ESD時代の胃癌の診断について』
山形大学医学部 消化器内科 助教 藤嶋 昌一郎 先生

←胃癌診断について
発表中の藤嶋先生



病院長：田中靖久 座長：河田先生、齋藤副院長

胃癌は、罹患率が高い癌ではありますが、最近は早期発見と早期治療により完治するまでにも医療技術が進歩してきています。藤嶋先生には、詳しく分かりやすく発表して頂き、御参集の先生方も大変興味深い内容だったと思います。今後の胃癌治療に役立てて頂ければ幸いに存じます。



座長・スペシャルアドバイザー

山形大学理事(副学長) 河田 純男 先生
(山形大学医学部消化器内科教授)

★河田先生には座長とスペシャルアドバイザーとして御尽力を頂きました。



【演題Ⅱ】
『早期癌の内視鏡的治療の現状』
東北中央病院
消化器内科医長 石濱活義 医師



【演題Ⅲ】
『胃癌の治療・手術と
抗癌剤について』
東北中央病院
外科医長 浅沼 拓 医師



★御参加の先生方より、
たくさんの御質問や
御意見を頂きました。

第1回と第2回は大腸癌についてのシンポジウムでしたが、今回は胃癌についての内容でした。消化器疾患治療を行う上では欠かせなくなったこのシンポジウムも、無事に第3回を開催することができました。病気を患った患者さんのためにこのシンポジウムで治療の最先端の情報を共有し、今後も医療技術の向上と地域医療の発展のために役立てて頂ければと思います。また該当する症例がありましたら、是非当院をご利用頂けると幸いに存じます。職員一同、患者さんのために一丸となって治療にあたります。今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。

〒990-8510 山形市和合町3丁目2番5号
公立学校共済組合 東北中央病院 病診連携室
TEL (フリーダイヤル)：0120-703-995
FAX (フリーダイヤル)：0120-168-990
代 表 電 話：023-623-5111